会員企業ご紹介50

株式会社レオンテクノロジー

https://www.leon-tec.co.jp

レオンテクノロジーはセキュリティ診断やフォレンジック、コンサルティングなどサイバーセキュリティに不可欠なソリューションを総合的に提供致します。作業は自社のセキュリティエンジニアですべて完結しており、ソリューション間での連携を密にする ことで、幅広い知見で各業務にあたることが出来ており、様々な業種業態の企業様よりご評価頂いております。

サイバーセキュリティに不可欠なソリューションをワンストップで統合的に提供致します。

セキュリティ診断

脆弱性診断ではアプリケーションやネットワークに潜む脆弱性を網羅的に洗い出します。
報告会では、実際に診断したエンジニアが同席し対応させて頂きます。

【サービス例】
- 脆弱性診断(WEB、NW、スマホ)
- ペネトレーションテスト
- レッドチーム（TLPT）
- クラウドサービス診断（AWS、Azure等）

調査・解析

情報漏えい・内部不正・ウィルス感染などのインシデントの全容を解明すべく、ヒアリングからエンジニアによる調査まで対応させて頂き、対策の立案も行っております。

【サービス例】
- フォレンジック
- マルウェア調査
- OSINT調査

監視・分析

ログ保管では、様々な機器やソフトウェアの動作状況の記録（ログ）を一元的に蓄積・管理しインシデント発生時に役立てます。またそのログを元にアラート監視・通知も行っております。

【サービス例】
- ログ保管
- SOC
- SIEM導入支援

コンサルティング

様々なセキュリティの課題に関してセキュリティベンダーならではのノウハウを生かし、助言・コンサルティングを行っております。

【サービス例】
- ISMS認定取得支援
- CISコントロール
- CSIRT構築支援
- セキュリティ顧問

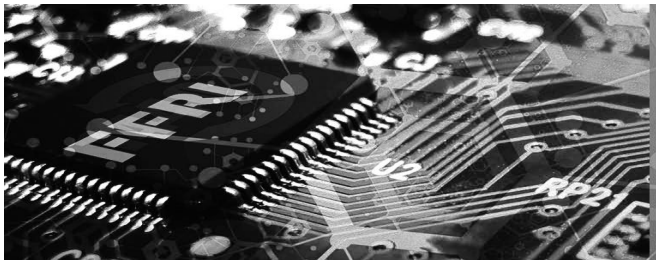
教育・研修

標的型メール訓練サービスなどの教育訓練や運用体制の見直し、セキュリティエンジニアの育成や診断の内製化支援など、弊社が経験してきたノウハウの提供を行っております。

【サービス例】
- 脆弱性診断内製化支援
- 標的型訓練メール
- セキュリティエンジニア育成
- インシデントハンドリング

お問い合せ	**株式会社レオンテクノロジー** **〒171-0014 東京都豊島区池袋2-52-8大河内ビル3F** **TEL: 03-5957-1960 / EMAIL：cs@leon-tec.co.jp**

株式会社ＦＦＲＩセキュリティ
https://www.ffri.jp/



日本でほぼ唯一
サイバーセキュリティの基礎技術研究を行う
日本発・純国産のサイバーカンパニー

2007年、当時北米でサイバーセキュリティのエンジニアをしていた現CEOの鵜飼と現CTOの金居は、国内にサイバーセキュリティの基礎技術研究を行っている企業が存在せず、自国の問題を自国で解決できないリスクに強い危機感を感じており、日本に帰国して当社を設立しました。2009年、従来のウイルス検知技術に頼らず、プログラムの動きを監視する事でマルウェアを検知する、振る舞い検知技術を使用した標的型攻撃対策ソフトウェア「FFRI yarai」の販売を開始。年金機構を狙ったマルウェアのほか、最近ではEmotetやRagnar Locker など、豊富な防御実績を公開しており、官公庁や金融機関などを中心に導入が進んでいます。その他、高いリサーチ能力を活かして、セキュリティの調査・研究や、教育・研修、IoT製品や自動運転に係る車載のセキュリティに関する調査・研究などの受託も行っています。

2020年には「株式会社ＦＦＲＩ」から「株式会社ＦＦＲＩセキュリティ」に社名変更し、サイバー領域における国家安全保障の実現へ向けて、ナショナルセキュリティへの注力を進めることを発表。横須賀ナショナルセキュリティＲ＆Ｄセンターを開設し、周辺組織や防衛産業企業、政府と一体になって安全保障の実現へ向けた取り組みを進めています。また、FFRI yaraiのOEM提供を進めており、マネージドサービスや新たなソリューションの研究開発など提供の形を増やし、増大するサイバー脅威へ対抗しています。

防御実績の一部

FFRI yaraiが検出したマルウェアのうち、著名なもので公開可能なものを抜粋し公開しております。世界中で被害の発生したマルウェアについても、被害発生以前にリリースされたバージョンでマルウェアを検出し、システムを保護できることを確認しています。詳細は以下URLよりご確認いただけます。
＜https://www.ffri.jp/products/yarai/defense_achievements.htm＞

発生/報告時期	防御エンジンリリース時期	攻撃・マルウェア名称
2020年7月	2018年2月	ランサムウェア「Maze」
2018年7月	2018年3月	マルウェア「Emotet」
2018年4月	2017年6月	ランサムウェア「GandCrab」
2017年5月	2016年10月	ランサムウェア「WannaCry」
2015年6月	2014年8月	マルウェア「Emdivi」※日本年金機構を狙ったマルウェア

日本最多の脆弱性発見実績	サイバーセキュリティに関する対策技術・研究開発	BlackHatなどカンファレンス発表実績多数
Microsoft WindowsやInternet Explorer、Adobe Readerおよび、Office製品など、日本最多の100を超えるクリティカルなセキュリティ脆弱性発見の実績があります。	リサーチエンジニアによる海外動向調査や最新の攻撃と防御手法の研究、先端テクノロジーに対する脅威分析・脆弱性検査・解析など、サイバーセキュリティに関する知見や技術を蓄積し、プロダクト開発やトレーニングサービスなどに活用しています。	世界で最も権威のあるセキュリティカンファレンスBlackHatのアジア初のレビューボーダーであるCEOの鵜飼を始め、トップクラスのエンジニアが多数在籍。近年ではBlackHat EU 2020にて研究結果を発表するなど、国際的にも高い評価を頂いております。

お問い合せ	株式会社FFRIセキュリティ Eメール：pr@ffri.jp 問い合わせフォーム：https://www.ffri.jp/contact/index.htm

株式会社アイピーキューブ

https://ip3.co.jp

**業務効率・コラボレーション・ワークスタイルの改善に期待が寄せられる昨今の、
セキュリティ向上・リスク管理・統制・コンプライアンスの確保などの解決に――。**

株式会社アイピーキューブは、創立以来10年以上、統合認証基盤【ID管理・シングルサインオン(SSO)・認証】を専門事業とし、信頼性の高い自社製品の開発と、大小問わず様々な規模・業種における統合認証基盤の構築プロジェクトを担ってまいりました。
その経験・実績を生かし、変革に伴うリスクを最小化すると同時に、得られるメリットを最大化できるよう、お客様の事業課題に応じた「統合認証基盤に関するコンサルティング」、「統合ID管理システムやシングルサインオンシステムの構築・カスタマイズ」、「導入後の運用サポート」をお手伝い致します。お客様のIT統制やセキュリティ対策のための堅牢なIT基盤（統合認証基盤・統合ID管理）を低価格でご提案・ご提供させていただきます。

■統合認証基盤のご提案

社内システムからクラウドサービスまで、社内外問わず幅広いITリソースを活用した業務が行われる昨今、より高い水準のセキュリティ対策が求められる時代になりました。当社は、国際標準規格のFIDO（ファイド）認証に準拠し、FIDOアライアンスよりFIDO2サーバとして認定を取得した「AuthWay（オースウェイ）FIDOサーバ」を2021年にリリースしました。
これにより、生体認証を含む多要素認証（MFA）、二経路認証、二段階認証を実現する「AuthWay」と、Webアプリやクラウドサービスのシングルサインオンを実現する「CloudLink」（クラウドリンク）を用いた、利用者の利便性と安全を両立した統合認証基盤をご提案しております。

■統合ID管理のご提案

各種システムやクラウドサービスの利用拡大にともない分散したID情報は、利用されなくなったにもかかわらずそのまま放置された場合、セキュリティリスクに直結します。「EntryMaster」（エントリマスター）は、それらのID情報を一元的に管理し、運用負荷を軽減しつつ、あらゆる場面に対応した「正しいIDライフサイクル」を提供する統合ID管理製品です。ID情報の入出力（連携）対象として、Active Directoryや各種LDAP、CSVファイル、クラウドサービスなど様々なシステムに対応可能なほか、各種機能の利用・メンテナンスのためのユーザーインターフェースは利便性を追求した操作性の良いものとなっております。また、情報セキュリティや情報統制活動において重要な、証跡管理（ログ）機能を提供しております。

お問い合せ	株式会社アイピーキューブ 〒105-0012 東京都港区芝大門2-12-9 HF浜松町ビルディング 8F TEL：03-4221-1101 *I Promise our Performance for your Profit* *アイピーキューブは、お客様の利益のために最高のパフォーマンスを実現することを約束します。*

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)

https://www.jipdec.or.jp/

データ流通社会を支える信頼と安心のために

日本の個人情報保護と情報セキュリティを支える

当協会は、半世紀を超えて日本の経済社会の情報化を先導し推進する重要な役割を担ってきました。近年のIoT・AI・ビッグデータなどのデジタル化が進む中では、個人情報保護や情報セキュリティといったデータの流通・利活用上の信頼確保に対する社会的要請の高まりに対し、実績を積み重ねてきております。

特に1998年より運営している「プライバシーマーク®制度」は、事業者の個人情報保護の取り組みの推進ならびに個人情報に関する意識向上に取り組んでおり、約16,500社を超える事業者にご活用いただいております。また、近年の押印手続の見直し等に伴い普及しつつある電子契約サービスを支える電子署名等のトラストサービスの評価事業にも取り組んでおります。

今後、当協会としては、JNSAのコミュニティの皆様と協力して、データ流通社会を支えて参る所存です。

プライバシーマーク制度

個人情報を適切に取り扱う事業者を示す「プライバシーマーク」。
事業者にとっては、個人情報保護法の遵守はもちろん、自主的に高いレベルの個人情報の管理体制を確立し運用していることを、取引先などに分かりやすく示すことができます。

個人情報が様々なビジネスやサービスに利用される一方、漏えい事故やトラブルなども頻発している状況において、事業者の個人情報の取扱いに関するリスク対策は、不正アクセス、ウイルス感染などに対するセキュリティ対策の強化にとどまらず、ヒューマンエラー、法令違反などのリスクを顕在化させない仕組み・適正に管理する仕組みの強化も求められています。個人情報の管理体制の強化、リスクマネジメントの一つとして、プライバシーマークをご活用いただければと存じます。

プライバシーマークについては、動画、セミナーなど様々なコンテンツ・サービスを提供していますので、ぜひご利用ください。また、ご質問・ご相談などがありましたらお気軽にお問合せください。

☆ プライバシーマーク制度Webサイト：https://privacymark.jp/

☆ YouTube【JIPDEC公式】プライバシーマークチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCscKq0Qp-dfY6m0yjLRut5A/

付与事業者インタビュー

知ってる？プライバシーマーク（動画）

プライバシーマークセミナー（動画）

お問い合せ	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9番9号　六本木ファーストビル内 https://www.jipdec.or.jp/

ラピッドセブン・ジャパン株式会社

www.rapid7.com/ja

RAPID7

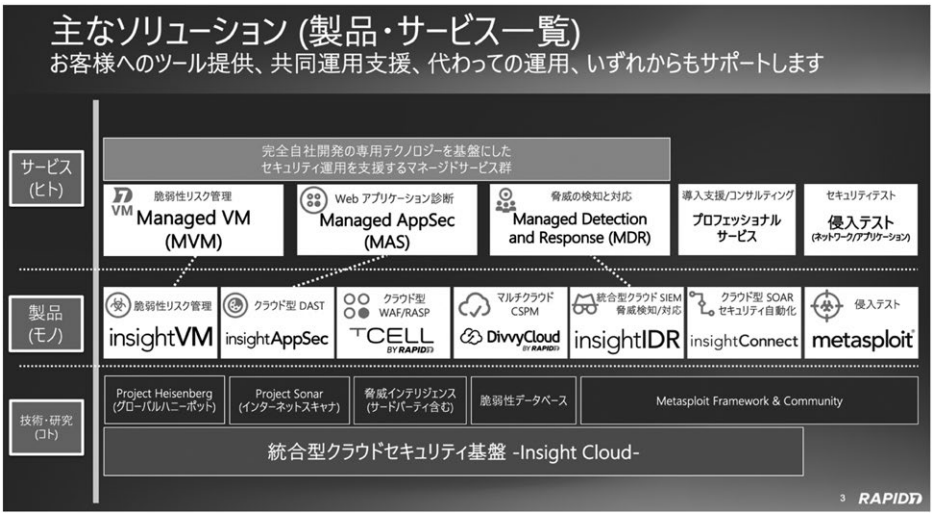
世の中のセキュリティを進化させるRapid7

Rapid7(ラピッドセブン)は、米国マサチューセッツ州で2000年に設立されて以来、今日まで業界でもっとも明晰な思考力でセキュリティの前進に努めて参りました。現在は全世界141をこえる国と地域で、9000社以上のお客様から高い信頼を得ています。

Rapid7のテクノロジーを凝縮した Rapid7 Insight Cloudを通じて、IT環境全体のデータ収集、脆弱性の管理の自動化、ユーザーの行動の監視、ログの検索、アプリケーションの脆弱性テストなど、セキュリティ、IT、DevOpsの部門間をまたいだコラボレーションが可能になります。

Rapid7は日本でも2020年6月からMDRサービスの提供を開始しました。MDRにはインシデント検知・対応に必要なSIEM、UBA、ABA(攻撃者行動分析)、NTA、EDRなどがパッケージされており、Rapid7による脅威検知とインシデント対応チームが24時間365日の監視を行い、ユーザーや攻撃者の行動分析、脅威インテリジェンスなど、様々な視点からログを分析します。顧客環境内のセキュリティインシデントを迅速かつ多面的に検知し、インシデントレスポンスを含めた対応につながる支援もトータルソリューションとして提供します。膨大なアラートの処理から脅威のトリアージ、インシデントの分析・対応までのライフサイクルをカバーするマネージドサービスとして提供していることが大きな特長となります。
顧客はインシデントレスポンスにおける最も負担が重い部分をRapid7にアウトソーシングすることで、現場の作業負荷を大幅に下げることができるようになります。

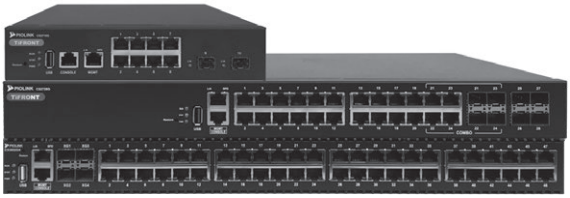
セキュリティは、仮説ではありません。すべての組織にとって現実であるべきです。だからこそ、セキュリティをビジネスの中核に位置付けるための支援をお約束しています。統合的なセキュリティプラットフォームの実現から、適切なセキュリティ体制の把握の向上までRapid7にお任せください。



お問い合せ	ラピッドセブン・ジャパン株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1　京橋エドグラン26階 代表番号：03-6838-9720　Website: www.rapid7.com/ja

株式会社パイオリンク
https://www.piolink.co.jp

当社パイオリンクはネットワークやセキュリティ分野において独自の技術とサービスを提供しております。

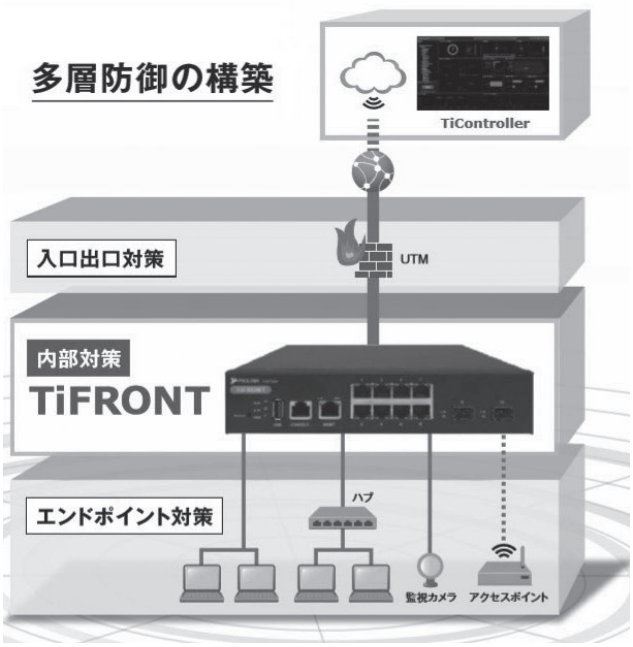


クラウド管理型のセキュリティスイッチ、TiFRONT(ティーフロント)と管理システムのTiController(ティーコントローラー)をラインアップしております。

TiFRONTはL2スイッチの形態でネットワーク内部に配置することから、端末やネットワークカメラ、IoT機器などの近い位置で内部ネットワーク上の攻撃性通信を「検知・遮断」することができます。

管理システムのTiControllerはクラウド環境に設置することができ、TiFRONTの一元管理に加え、TiFRONT配下の端末情報をエージェントレスで可視化いたします。

内部ネットワークで通信や端末情報を可視化し、拡散の対策を取ることが、重要になってきています。



<UTMとの連動遮断>

攻撃者の初期活動を端末に近い位置で遮断することで攻撃者の動きを封じ込め、その後の攻撃活動が継続できないようになります。

既に設置しているUTMなどの入口出口対策機器と連動動作を取ることで、検知対象の端末の通信を即時遮断することができます。

リモートワークやDXが進む昨今においても、社内ネットワークは存在しております。

改めて社内ネットワークに対するセキュリティ対策を見直すことで、**「検知したら即対応」**できる仕組み作りをご支援いたします。

お問い合せ	株式会社パイオリンク 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-8-8　カールツァイス新宿別館3F Email：sales@piolink.co.jp Web：https://www.piolink.co.jp Twitter：@PIOLINK_JP